

# 大規模自然災害の現況 (2018年)

By T. Itakura

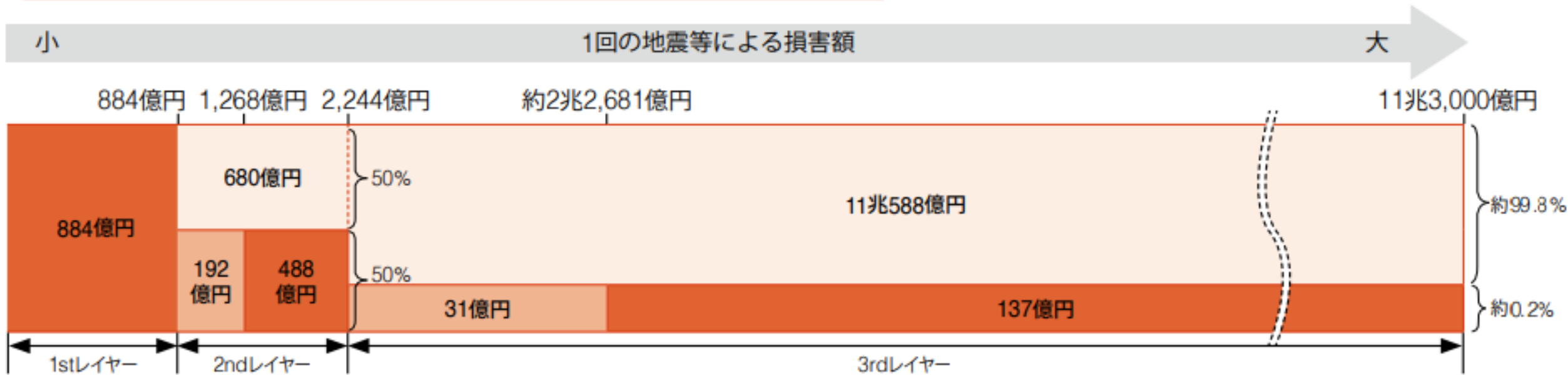
# Natural Disaster during Yr 2018

(As of 11, December 2018)

Loss Date	Event	Paid (JPY million)	No. of Claims RCVD.	No. of Claims Paid	Paid Ratio
18, June	Osaka Hokubu EQ	103,320	179,508	144,029	80.2%
28, June to 8, July	July Heavy Rain	190,195	65,690	55,280	84.15%
4, Sept.	Typhoon 21 (Low: Mar.11,2019)	747,787	881,110	817,927	92.8%
		969,813	943,380	849,180	90.00%
6, Sept.	Hokkaido Iburi EQ	33,823	60,162	46,596	77.5%
30, Sept.	Typhoon 24 (Low: Mar.11,2019)	237,753	429,469	391,567	91.17%
		286,843	466,783	411,649	88.19%
	Total:	1,312,878	1,615,939	1,455,399	90.07%
		1,583,994	1,715,523	1,506,734	87.83%
<b>The Great East Japan Earthquake</b>					
Mar. 11, 2011	-	1,279,517	896,865	812,371	90.6%

# 2017年4月1日以降の家計地震保険の仕組み（地震再保険）

再保険スキーム（2017年4月1日以降発生した地震等に適用）



(責任限度額)	損害保険会社	金額
	当 社	223億円
	民間計	1,509億円
	政 府	1,732億円
	政 府	11兆1,268億円
	合 計	11兆3,000億円

国内損保10社により  
100%所有されている  
EQ専門再保険会社  
三メガによる株式保有  
率は83.1%

# Natural Disaster during Yr 2018

(As of 11, December 2018)

Loss Date	Event	Paid (JPY million)	No. of Claims RCVD.	No. of Claims Paid	Paid Ratio
18, June	Osaka Hokubu EQ	103,320	179,508	144,029	80.2%
6, Sept.	Hokkaido Iburi EQ	33,823	60,162	46,596	77.5%
	Sub-Total	137,143	239,670	190,625	79.5%
<p>大阪北部： 民間損保2,106百万、地震再保93,754百万、政府7,460百万                      北海道胆振EQ：地震再保の負担のみ</p>					
28, June to 8, July	July Heavy Rain	190,195	65,690	55,280	84.15%
4, Sept.	Typhoon 21	747,787	881,110	817,927	92.8%
		969,813	943,380	849,180	90.00%
30, Sept.	Typhoon 24	237,753	429,469	391,567	91.17%
		286,843	466,783	411,649	88.19%
	Sub-Total	1,175,735 1,446,851	1,376,269 1,475,853	1,264,774 1,316,109	91.90% 89.18%

# Natural Disaster during Yr 2018

Loss Date	Event		Paid (JPY million)	No. of Claims Paid	AV Paid Amount (JPY thousand)
28, June to 8, July	July Heavy Rain	2018年12月11日	190,195	55,280	3,441
4, Sept.	Typhoon 21	①2018年12月11日	747,787	817,927	914
		②2019年3月11日	969,813	849,180	1,142
		② - ①	222,026	31,253	7,104
30, Sept.	Typhoon 24	①2018年12月11日	237,753	391,567	607
		②2019年3月11日	286,843	411,649	697
		② - ①	49,090	20,082	2,444

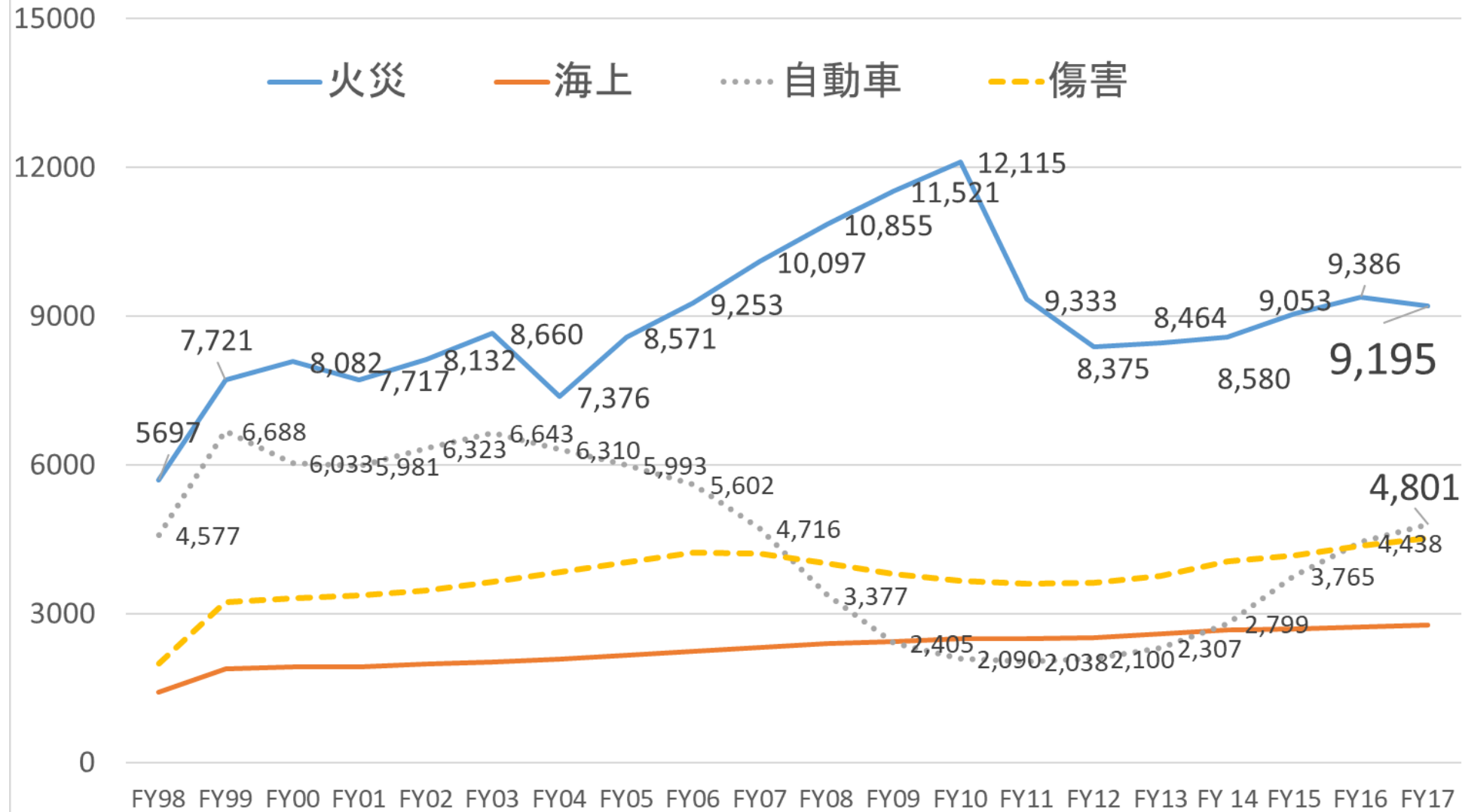
2018年12月11日以降2019年3月11日までの間に支払われた1件当たりの平均金額は①の期間内での支払単価の4倍から7倍になっている。

## 三メガ各社の状況（見込み額：億円）

	TMNF	SJNK	MS&AD
7月豪雨	－	610	779
台風21号	－	2,981	4,364
台風24号	－	929	1,044
その他	－	467	362
支払額合計	3,208	4,988	6,550
再保険回収	1,227	3,210	4,442
正味保険金	1,981	1,778	2,108

3メガ損保社の再保険からの回収額は、合計で9千億円近い金額となっている。この金額は、日本の保険市場が経験したことのない史上最大の金額といえる。

# 主要4種目異常危険準備金の推移(億円)



## ◆火災保険等に係る異常危険準備金制度の拡充及び延長

### 【現状及び問題点】

- 損害保険会社では、大型台風、雪害、洪水等の自然災害への保険金支払いが近年増大⇒ 異常危険準備金の大幅な取崩しを余儀なくされ、残高が低水準。
- 巨大自然災害に対する保険金の支払いに耐えうる、十分な残高の確保・維持が必要不可欠。

### 【要望事項】

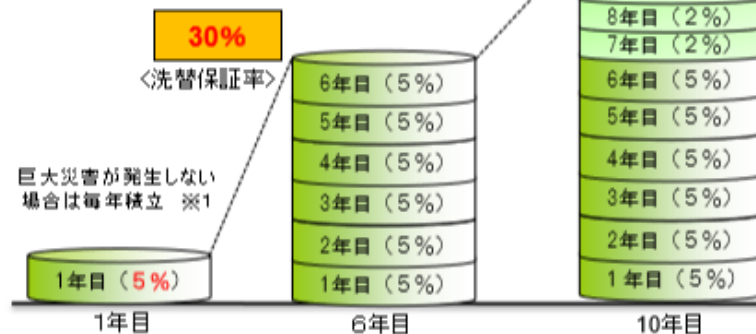
- 低水準となっている残高を早期回復するため、平成31年3月末までの時限措置となっている経過措置を延長するとともに、高額化する保険金支払いを踏まえた残高を確保する観点から積立率(現行3%)等を上げること。

①積立率：正味収入保険料×現行5% (本則2%、経過措置3%) → 6% (本則2%、経過措置4%)

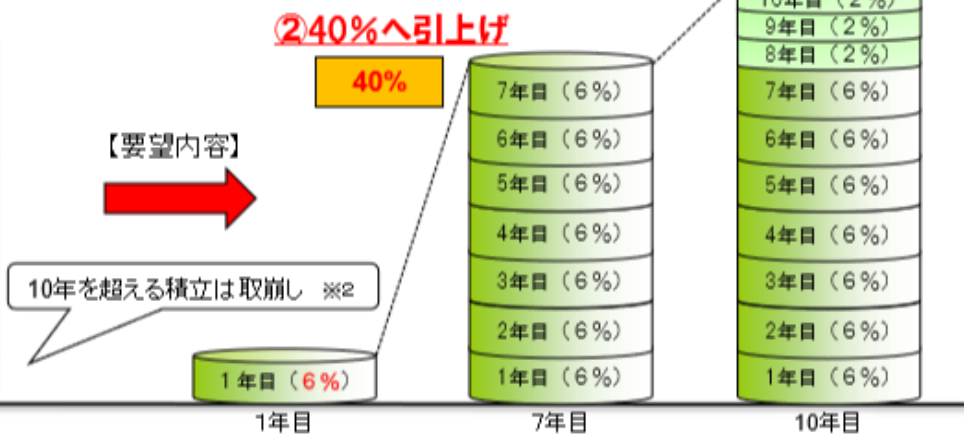
②洗替保証率：正味収入保険料×現行30% → 40% ※本則積立率適用残高率も同様

### 現行

洗替保証率(現在30%)を超えて積立を行う場合は、本則2%の積立率を適用



### 要望内容



※1 支払保険金の総額が正味収入保険料の50%を超える場合、当該超過額を取崩して支払いに充てる。

※2 ただし、残高が30%に達するまでは取崩し不要。

①積立率6% (経過措置分4%) に上げたいえ延長 14

財務省の試算では、本措置による国税の減収額は、およそ40億円。